

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（売場主任）	・1、2年前から、客は季節の先取りをしなくなり、その時期に合った商品を求める傾向がある。そうしたことから判断すると、3か月後は冬物の売上が一番多い時期でもあり、販売量は増加する。
		家電量販店（店長）	・薄型テレビ、デジタル映像機器、マッサージチェアなどの動きが堅調なことに加え、今後、新製品の投入も多いことから、売上はやや良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・他社に先駆け、新型車が発売されることから、客の購買意欲が増す。
		スナック（経営者）	・最近、客から「仕事が少し増えた」、「残業があった」という話を聞くようになった。
		観光型旅館（経営者）	・昨年と比較して、宿泊客の予約状況が良い。忘年会予約も早くから入っている。
		観光名所（経営者）	・1人当たりの客単価は微減であるが、観光客は徐々に増加しており、売上増加が見込める。
		ゴルフ場（従業員） 住宅販売会社（従業員）	・週末・平日ともに早い時期から予約が入っている。 ・現場見学会への来客数が増加しており、客との接触状況からみても、やや良くなる。
変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・景気が良くなる気配もあったが、最近後戻りの感があり、底を脱しきれていない。3か月後は冬物商戦に入るが、良かったり悪かったりの繰り返しで上向き状況にはない。特に学生が郊外店に流れている感じがある。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・例年10月、11月は、年間でも暇な時期を迎える中で、客が低価格帯の商品を嗜好しているのが気になる。また最近、生産者の直売が増加しており、価格の下落がみられる。
		一般小売店〔菓子〕（販売担当）	・今月は来客数、売上ともに激減した。この傾向は、当分続きそうな気配である。
		百貨店（総務担当）	・天候不順に加え選挙も控えており、百貨店にとって良い要因がない。購買に対して慎重な客の動向に変化はない。
		百貨店（営業担当）	・個人消費の回復は全く見えない。今後、医療費や年金の負担増加により、個人消費はまだ回復しない。
		百貨店（営業担当）	・昨年のセールスの反動と、同業店のセールや郊外ショッピングセンター増床の影響から、売上、来客数とも前年割れの状況にあるが、客単価は7月から3か月連続して増加し、前々年と比較してもプラスの月が続いている。
		スーパー（企画担当）	・客の財布のひもは固く、セールをしても良い日と悪い日があるため、全体的な底上げになっていない。
		スーパー（財務担当）	・営業時間を延長した店舗では、売上、来客数とも順調に推移しているが、定着するかどうかもう少し様子を見たい。
		コンビニ（店長）	・酒類販売の自由化により、競合店が増加し売上も伸びにくくなっている。
		衣料品専門店（経営者）	・残暑の影響、慎重な購入態度から、秋冬物商品の立ち上がりが遅い。購入の際は1点1点吟味して決めており、単品買いの傾向も続いている。
		家電量販店（営業担当）	・テレビ、パソコンの動きは早いですが、その他の季節商品に今年は期待できる要素が少ない。
		乗用車販売店（従業員）	・秋の新型車が出始めたにもかかわらず、来場者の動きは今ひとつ感触が悪い。新型車の投入によって、やっと例年並みの販売を保っているにすぎない。
		乗用車販売店（管理担当）	・買換えを勧めても、「まだ乗れる」、「走行距離が伸びていない」など、新車需要につながらない意見が多い。
		一般レストラン（経営者）	・単価の高い品物は敬遠され、廉価な品物が求められている。また、来客数は大幅に減少しており、この傾向は当分変わらない。
		タクシー運転手	・歓送迎会など会社関係の飲み会は少なくなったと聞いている。四国八十八か所参りもこの秋は少なく、今の状況が続く。
		やや悪くなる	やや悪くなる
住宅販売会社（従業員）	・住宅金融公庫の金利引き上げの情報による駆け込み需要の反動で、商談が少なくなる。		
悪くなる	悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・来客数、販売量とも減少している。

企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品 製造業（経営者） 通信業（営業担当）	・新商品、OEM商品の受注が増加してきている。 ・「DVD、液晶テレビなど、新製品の販売量が増えた」、 「背広、ワイシャツ、靴など、男性用商品の需要が出てきた」といった大手スーパー、量販店の責任者の声をよく聞く。
		不動産業（経営者）	・昨年に比べ事務所の移転が非常に多くなった。また、家賃もやや高くなってきている。
	変わらない	化学工業（販売担当）	・株価の上昇など良い話もあるが、全体的には将来への不安があり、個人消費は冷え込んだ状態が続いている。また、中小企業においても意欲的な設備投資がみられない。
		一般機械器具製造業 （経理担当） 輸送業（支店長） 広告代理店（経営者） 公認会計士	・排ガス規制対策による特需は、現在も底堅く推移しており、年内はこの状態が続く。しかし、第4四半期の需要動向は不透明であり、極めて読みたい。 ・台風による釜山港の復旧には、1か月程度かかりそうであり、変更されている輸入ルートの復元は早急には難しく、しばらくは現行の状態推移する。 ・広告出稿は比較的多いが、通信関係など地域に密着した販売促進広告が減少傾向にあり、依然として厳しい状況にある。 ・取引先から、「株価の値上がりで少し安心感が出てきたものの、円高の進行より将来に不安を持っている」との話がよく出る。売上は、前年比で平均7%下落しており、消費回復には至っていない。
	やや悪くなる	木材木製品製造業（経営者） 電気機械器具製造業 （経営者）	・現在の住宅建設の駆け込み需要に伴い、相当景気が良いように感じているが、その反動で年明けは減少する。 ・我が社は輸出中心であるため、為替相場がこのまま円高で推移すると、一段と経営が厳しくなる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・求人数、求職者数とも増加傾向にあり、少し動きが活発になってきた。
	変わらない	求人情報誌製作会社 （従業員） 職業安定所（職員）	・例年の年末のような求人数、求職者数に戻りつつあり、若干ではあるが、明るい兆しがみえる。 ・パートを含む有効求人倍率は、0.52倍と2か月連続で改善した。しかし、7月に前年同月比が減少した新規求職者が再び増加しているほか、求人の内容も警備業、タクシー業、美容師、看護師、派遣請負業などが中心であるため、改善傾向は感じられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業の厳しいリストラ、再編等の動きが継続する中、新規採用も極めて慎重な姿勢のため、新しい人材の就職が厳しくなっている。
		やや悪くなる	-
	悪くなる	-	-